

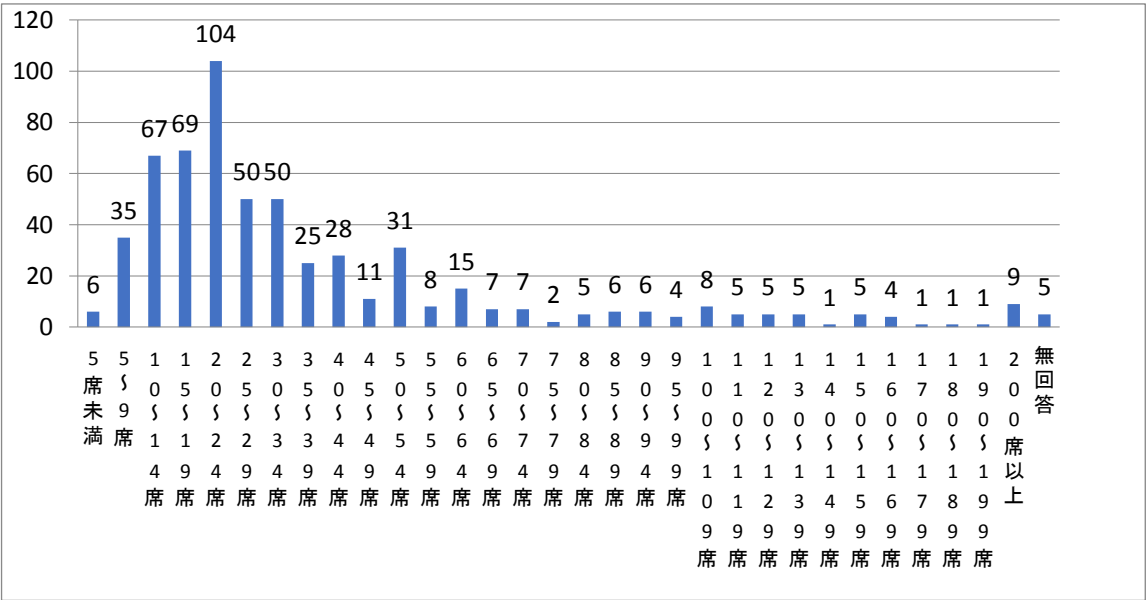
飲食店の受動喫煙対策に関する実態調査

【調査の概要】

- ・平成29年12月1日現在、市内に所在地のある飲食店から2,700店舗を無作為抽出
- ・対象の飲食店に、調査票を郵送で送付、回答後、郵送で返信
- ・アンケート実施期間 平成30年2月下旬～3月中旬
- ・有効回答数 586店舗 回答率 21.7%

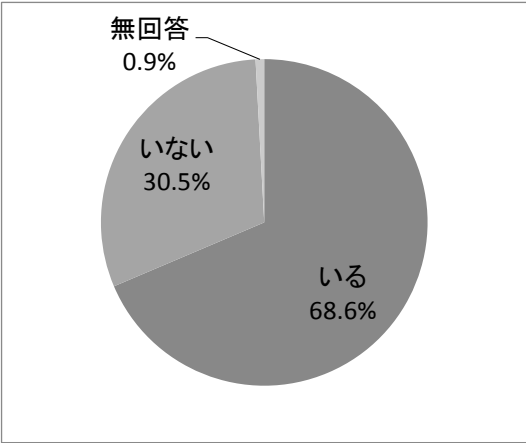
※()内:各設問における対象店舗および店舗数

問 1 客席数（定員）



(全586店舗)

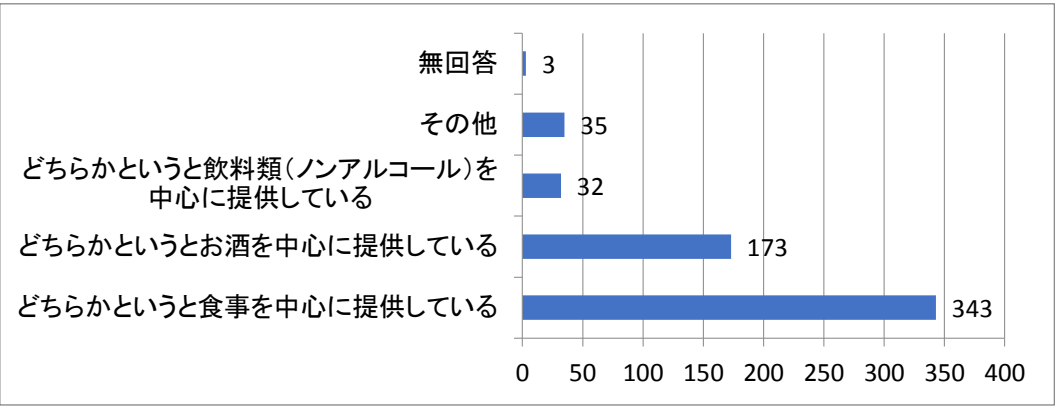
問 2 雇用従業員（アルバイト含む）有無



いる	402店舗
いない	179店舗

(全586店舗)

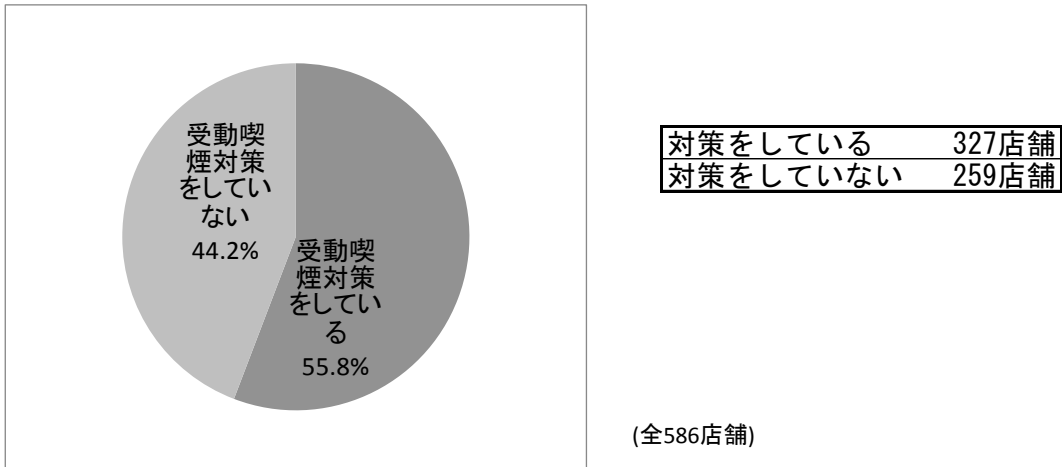
問 3 店の業態



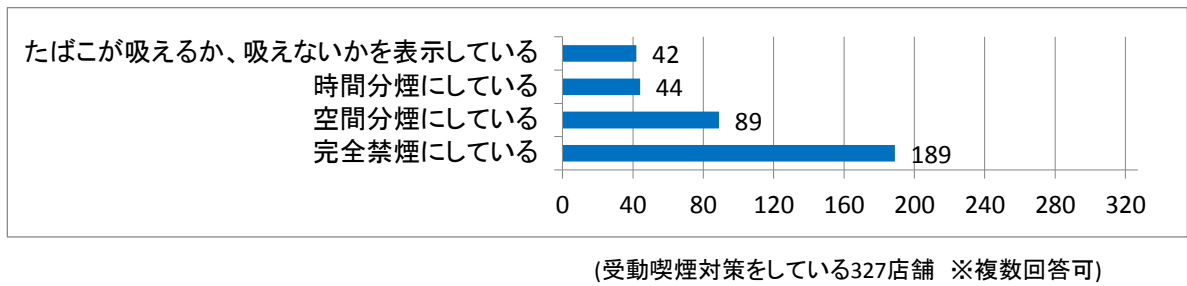
(全586店舗)

上記には、キャバレー、バー、ナイトクラブなど風俗営業法に規定された飲食店（29店舗）、日本チェーンストア協会、日本フランチャイズチェーン協会等の会員（8店舗）を含む。

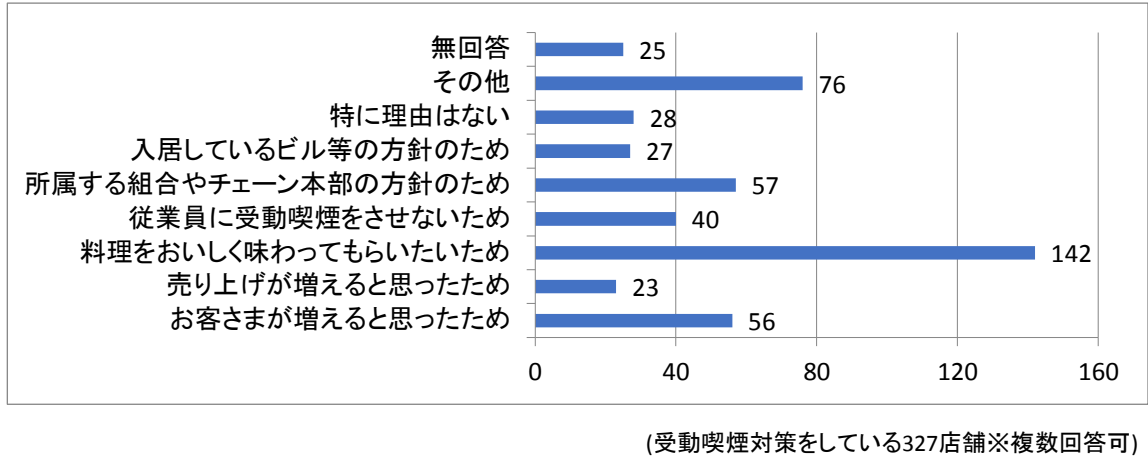
問4 店の受動喫煙対策有無



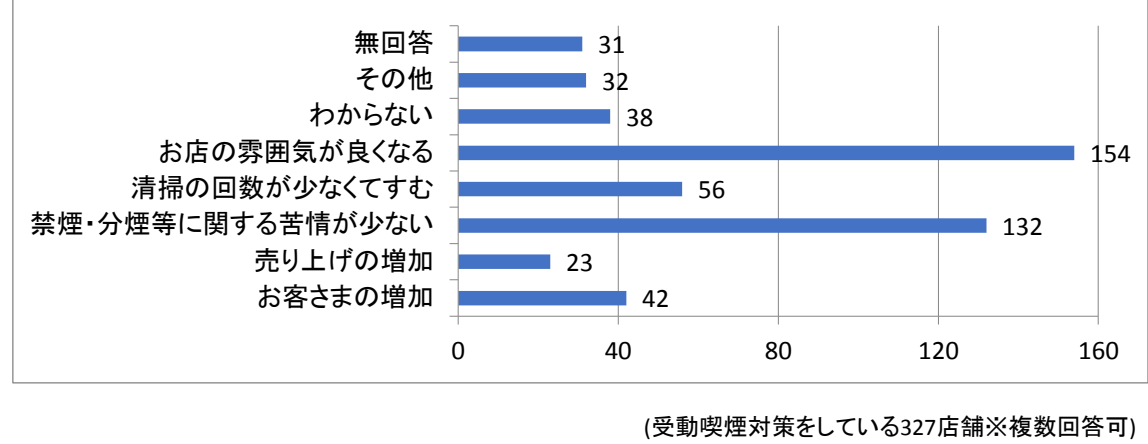
店の受動喫煙対策状況



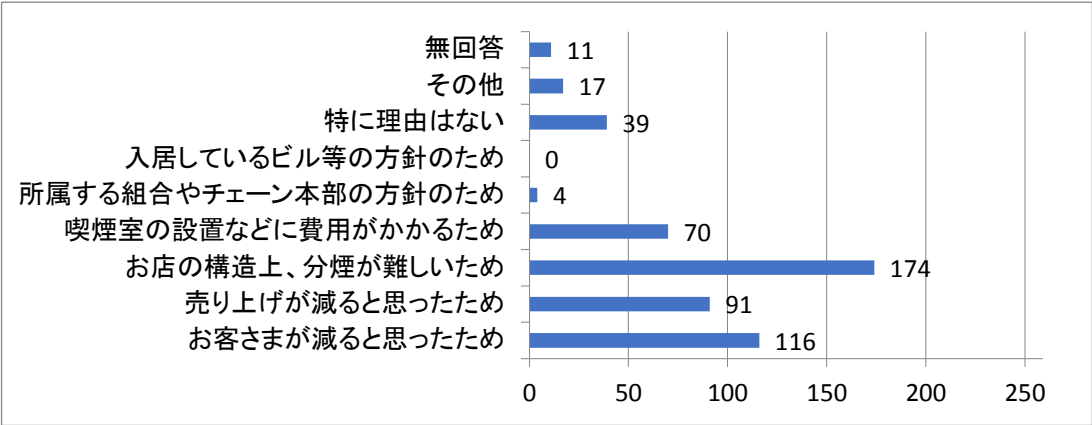
問5 受動喫煙対策をしている理由



問6 受動喫煙対策をしていることによるメリット

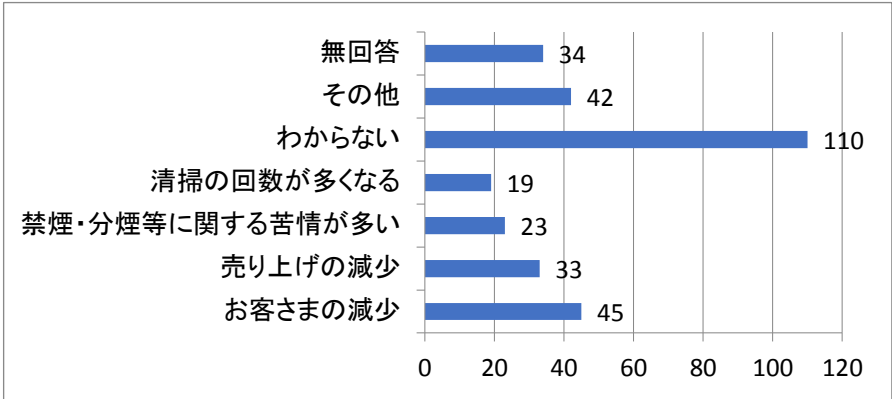


問7 受動喫煙対策をしていない理由



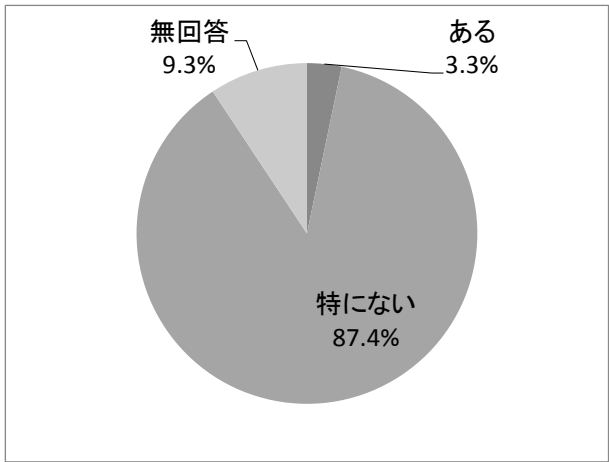
(受動喫煙対策をしていない259店舗※複数回答可)

問8 受動喫煙対策をしていないことによるデメリット



(受動喫煙対策をしていない259店舗
※複数回答可)

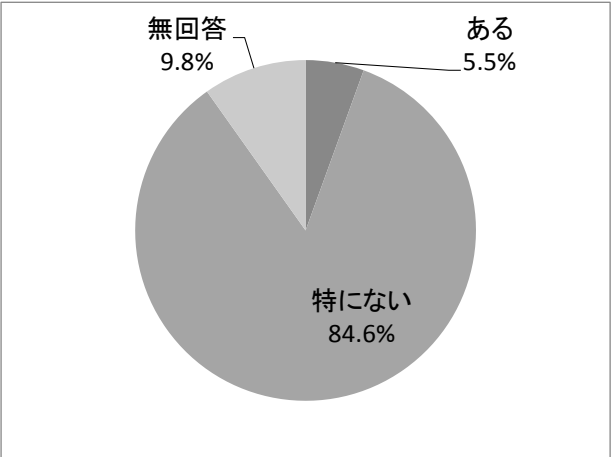
問9 従業員募集時に、店内のたばこの煙を理由に断られた経験有無



ある	13店舗
特になし	347店舗

(完全禁煙を実施していない397店舗)

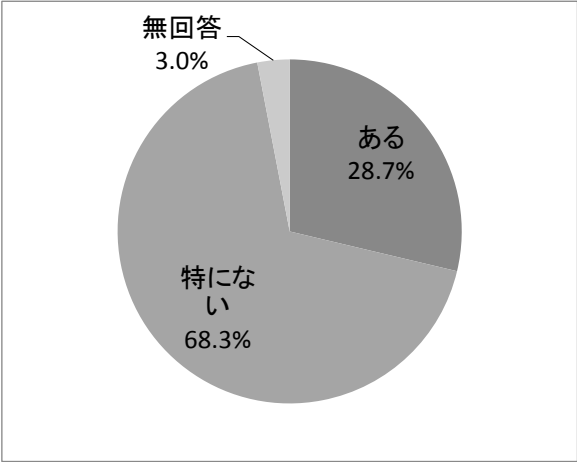
問10 店内のたばこの煙が理由で、従業員の辞職・苦情経験有無



ある	22店舗
特にない	336店舗

(完全禁煙を実施していない397店舗)

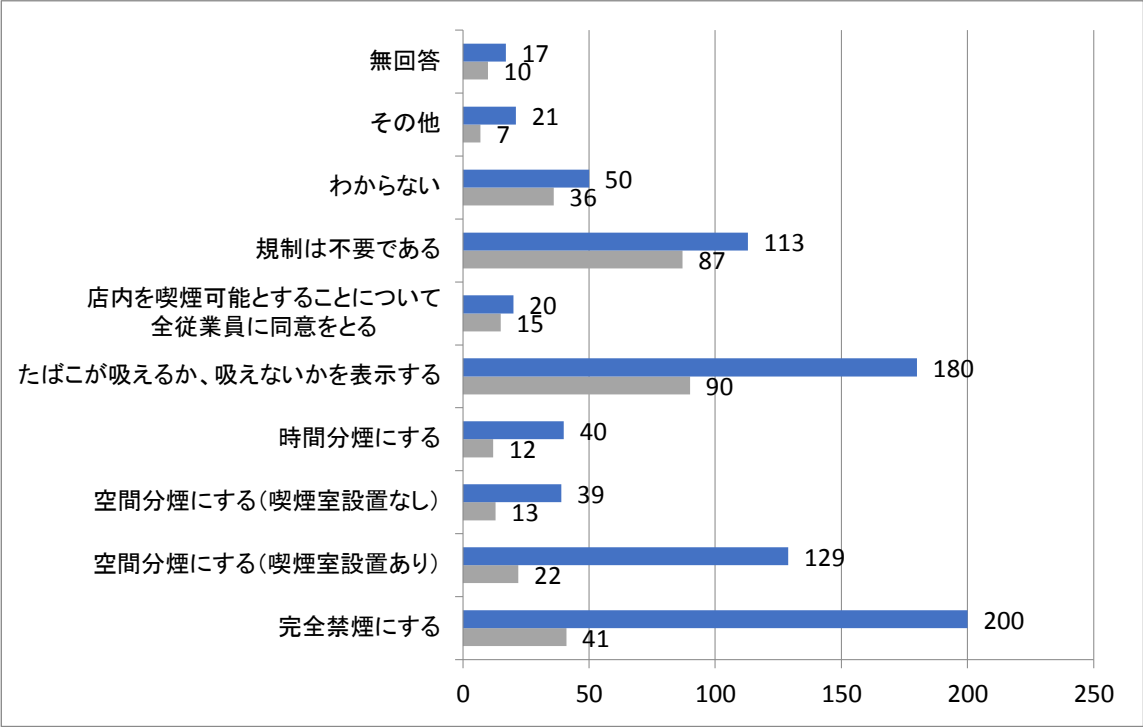
問11 店内のたばこの煙や臭いで、顧客の退店・苦情経験有無



ある	114店舗
特にない	271店舗

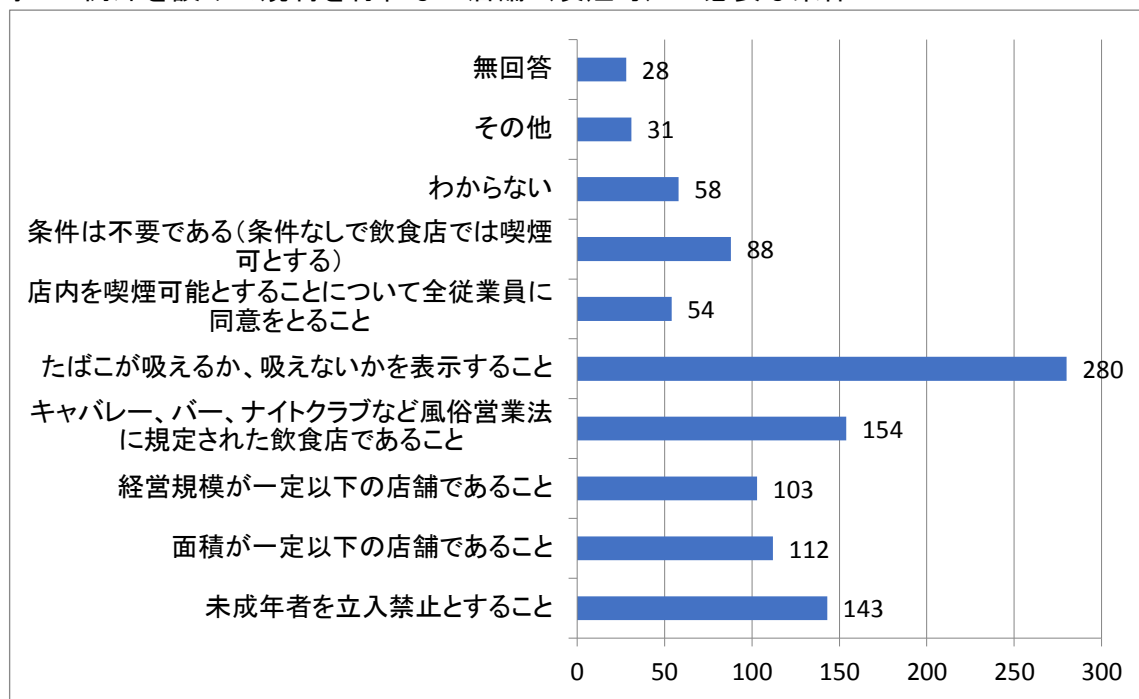
(完全禁煙を実施していない397店舗)

問12 受動喫煙対策の望ましい定め方



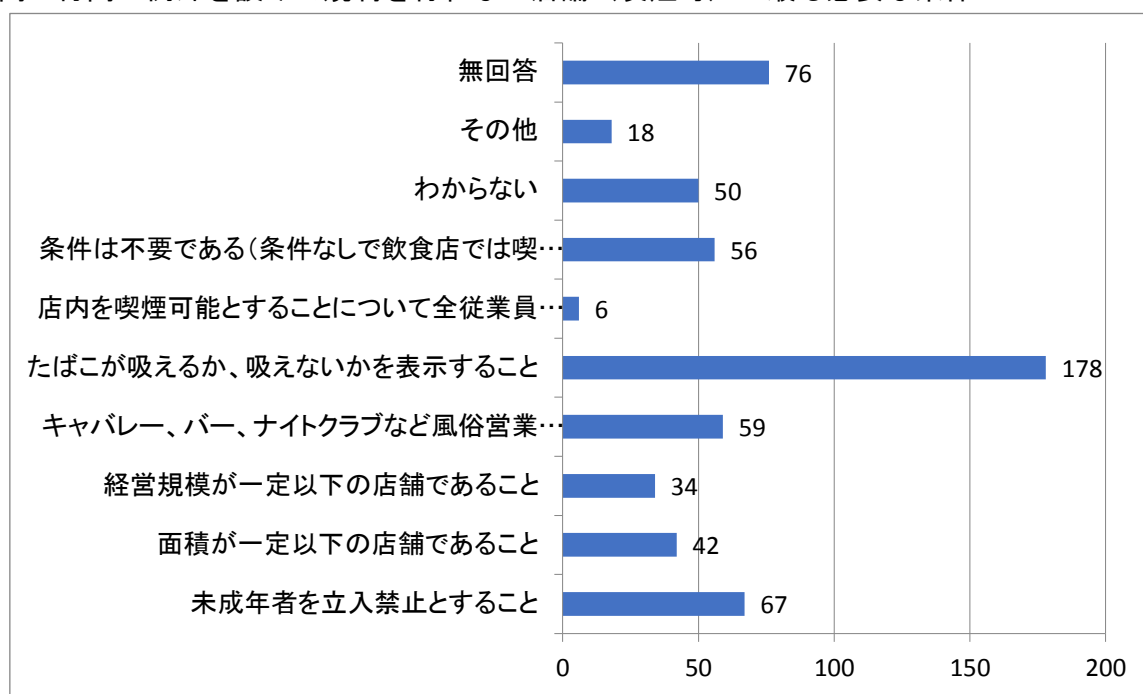
(上段全586店舗。下段<内数>受動喫煙対策をしていない259店舗※複数回答可)

問13 例外を設けて規制を行わない店舗（喫煙可）に必要な条件



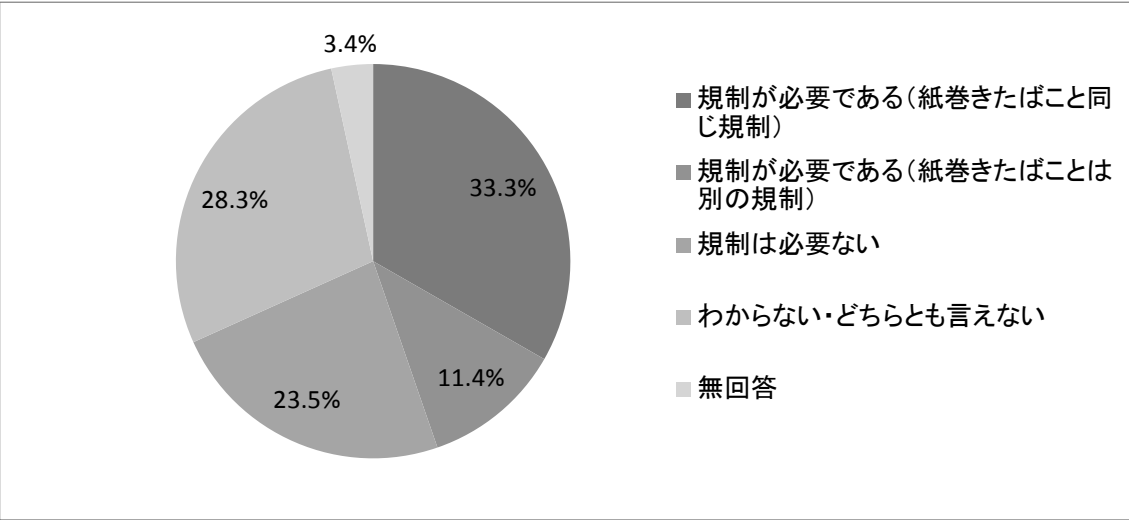
(全586店舗※複数回答可)

問13付問 例外を設けて規制を行わない店舗（喫煙可）に最も必要な条件



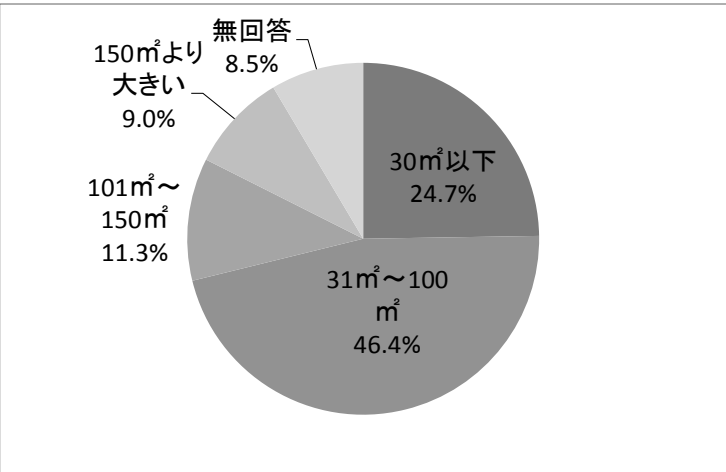
(全586店舗)

問14 加熱式たばこについて、規制の必要有無



(全586店舗)

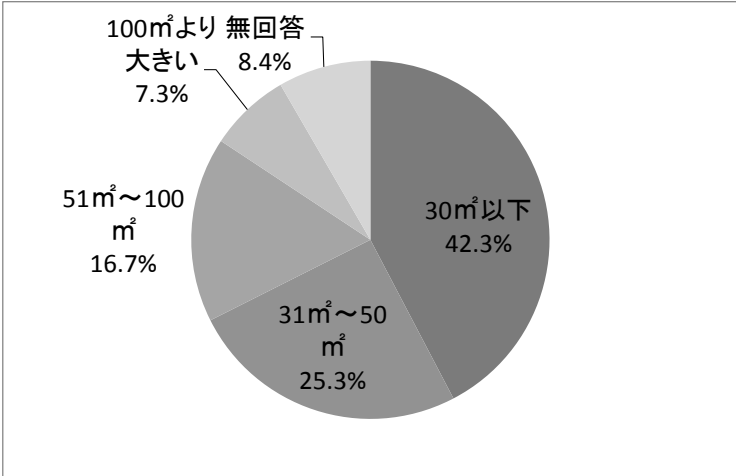
問15 店（客席・調理場などを含む）の面積



30㎡以下	145店舗
31㎡～100㎡	272店舗
101㎡～150㎡	66店舗
150㎡より大きい	53店舗

(全586店舗)

問16 店の客席面積



30㎡以下	248店舗
31㎡～50㎡	148店舗
51㎡～100㎡	98店舗
100㎡より大きい	43店舗

(全586店舗)

大規模店と小規模店の比較

	全体		従業員雇用有		対策未実施		対策不要と考える	
	店舗	割合	店舗	割合	店舗	割合	店舗	割合
小規模店(客席面積100㎡以下)	494	92.0%	329	66.6%	223	45.1%	96	19.4%
大規模店(客席面積100㎡超)	43	8.0%	42	97.7%	6	14.0%	4	9.3%

(客席面積の大きさを回答した537店舗)